

令和2年度 学校経営計画表（定時制・昼間制）

1 学校の現況

学校番号	24		学校名	県立水戸南高等学校				課程	定時制、通信制		学校長名	川内 孝雄				
教頭名	菅谷 則行 (定時制・昼間制)		大塚 哲蔵 (定時制・夜間制)				荒井 豊水 (通信制)		事務室長	千葉 一夫						
教職員数	教諭	64	養護教諭	2	常勤講師	3	非常勤講師	25	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	6	技術職員等	10	計	116
生徒数	課程・学科			1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス		
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	定時制(昼)	普通科		43	29	34	34	22	26	9	5	108	94	8		
	定時制(夜)	普通科		9	5	11	2	7	7	3	1	30	15	4		
	通信制	普通科		64	66	55	68	52	64	66	78	237	276	25		
		ライフデザイン		12	24	10	27	13	14			35	65	3		

2 目指す学校像

「生徒一人一人のニーズ・スタイルを尊重し、学校本来の大切さを日々感じる学校」

単位制で作る自分の時間割，生活スタイルで選べる3つの課程，たくさんの教員による手厚い指導体制を生かしたセルフビルドの学習を実現する。

JR水戸駅から徒歩圏内の利便性と，緑に囲まれた閑静な環境を生かして，持続可能な心静かな学びを実現する。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	学びの楽しさに気づかず，基礎学力が身に付いていない生徒が多数入学する。そのため，学習意欲に乏しい生徒も数多く見られるが，学び直しや，基礎学力向上の取り組み等により，改善が図られ，見違える様な成長を遂げる生徒も数多い。	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着 思考力・判断力・表現力の向上 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
進路指導	雇用環境は昨年の頂点から減速しつつある。生徒の希望する職種への就職は簡単ではない。昨年度は学校・職安を通しての就職希望者は100%就職できた。進学は，AO入試を利用して大半の生徒が希望進学先に合格できた。	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい勤労観・職業観の育成 進路意識の高揚 基礎学力・コミュニケーション能力の増進 主体的な進路選択と進路実現
生徒指導 教育相談 特別支援	精神的な悩みを抱えた不登校の傾向にある生徒が多く入学している（令和2年度入学生の年間30日以上欠席率26%，100日以上欠席率42%）。入学後は，生徒に寄り添う指導と，生徒自身の向上心から学校生活は，着実に改善している（年間30日以上欠席率36%）。また，特別な支援や配慮を必要とする生徒の入学も増加傾向にあり，個性豊かで多様性に溢れている。	<ul style="list-style-type: none"> 組織的生徒指導体制の充実 規範意識の高揚（マナーやモラルの向上） 教育相談体制の一層の充実 キャンパスエイド等，各種支援事業の運用 個々の教育的ニーズに応じた指導の充実 新規外部機関との連携・協力
特別活動	人間関係など課題を抱え，上手く集団生活を営めない生徒が増えている一方で，生徒会や部活動に熱心に取り組む生徒も学年が進むに連れ，増加している。	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や生徒会活動の内容の工夫・充実 定通体育大会，各種大会やコンクール，生徒生活体験発表会，ボランティア活動等への参加の奨励 キャリア・パスポートの効果的な活用

働き方改革

超過勤務時間の平均は、令和元年6月：22時間23分、同年10月：20時間37分であった。しかしながら、一部の教職員については若干超過勤務時間が長い状態にある。

- ・教職員一人一人の意識改革
- ・校務分掌内でのさらなる協働体制の構築
- ・定時退勤日等の実施

4 中期的目標

- 1 文化やスポーツの能力を伸長する生徒、働きながら学ぶ生徒にも対応できる、単位制や三課程の特色を生かした普通科教育の場として、中学校卒業の生徒が進路先として選ぶ高校であることを定着させる。
- 2 交通至便な立地にある静かな学びの場で、小中学校で不登校を経験した生徒などが落ち着いて学習できる環境を提供するとともに、再学習や中途入学の高校として、一人一人の目標実現に寄与する。
- 3 髪型や服装への制約やストレスがなく、生徒が自分自身と向き合う場として、学校本来の大切さを感じられるオーソドックスな高校であることを中学校や社会に周知する。
- 4 教職員一人一人が働き方改革に取り組み、自らの授業を磨くとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、生徒に対して効果的な教育活動を行う。

5 本年度の重点目標（定時制・昼間制）

重点項目	重点目標
・基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組む習慣を身に付けさせ、基礎学力の定着を図る。 ・生徒の関心・意欲を引き出し、学ぶ喜びやわかる楽しさを実感できる授業を行う。 ・「主体的・対話的な深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。
・望ましい勤労観・職業観の育成及び主体的な進路選択と進路実現	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア・カウンセリングの機会の確保に努め、キャリア教育を推進する。 ・日頃の教育活動全般をとおしたキャリア教育に努め、様々な状況に応じて適切な進路指導を行う。 ・生徒の特性や進路希望に合った資格の積極的な取得を目指す。
・生徒指導及び一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に寄り添った指導によって基本的な生活習慣の確立を目指すとともに、自己肯定感・自己有用感を高める。 ・学校生活や様々な体験活動をとおして、マナーやモラルの向上とさらなるコミュニケーション能力の育成を目指す。 ・道徳教育を含む教育活動全体をとおして自他共に尊重できる姿勢を養い、いじめのない生活環境を整える。 ・スクールカウンセラーや教育相談員、キャンパスエイド等、外部人材との連携により、生徒一人一人に応じた支援を充実させる。また、学習や生活上の困難に対する個に応じた指導の充実を図るとともに、特別な教育的支援を必要とする生徒の理解に努める。

<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・萬祭(文化祭)や生徒会行事，クラスマッチ，生活体験発表等の学校行事をとおして主体的に行動できる態度を養う。 ・部活動の活性化を図り，意欲的な取組と積極的な定通大会への参加を目指す。 ・キャリア・パスポートを有効に活用し，主体的に学びに向かう力を育むとともに，自己実現につなげていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内外の積極的な研修参加により，教職員としてのスキルアップに努める。中でも，ICT活用能力を向上させることにより，授業改善や業務の効率化を図っていく。 ・在校時間を適切に把握し，一人一人の工夫とチームの協働体制を構築し，業務の効率化に努める。
<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信による学校への理解促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等を通じ，学校行事等の様子を発信することで，学校への理解促進を図る。